

平成 28 年度 第 4 回「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

【日 時】平成 29 年 2 月 23 日（木）18 時～19 時 00 分

【場 所】皇學館大学 9 号館 1 階 小会議室

【出席者】（伊勢市）辻企画調整課長（鳥羽市）山本企画経営室長（志摩市）澤村総合政策課長（玉城町）中川総合戦略課係長（度会町）中井政策調整課長（南伊勢町）西村行政経営課長（明和町）朝倉防災企画課企画担当係長

（三重銀総研）伊藤専務取締役

（大学）齋藤教授、櫻井教授、筒井教授、板井准教授、近藤准教授、千田准教授、池山助教、木村企画部長、森企画部地域連携推進室課長、梅川地域連携推進室員

* 欠席 （大紀町）田中企画調整課長、（大学）笠原教授

【議 題】

1. 「伊勢志摩定住自立圏共生学」I・II テキスト内容

齋藤教授より配布資料をもとに『伊勢志摩定住自立圏共生学 I・II』について、説明がなされた。

- このテキストは、e ラーニングのシステム上においておき、学生が適宜授業内容に合わせて事前学修用に利用するもの。事前学修の課題、データを示す形で 1 科目 15 回分掲載。1 回目にはガイダンスということで、COC 事業についての説明書きが入る予定。
- 当初、紙ベースで作成予定であったが、外部評価委員会でデータの陳腐化などが指摘されたことから、電子媒体での作成となった。
- 著作権については教材ということで、その特例の中で使用できるものとし、閲覧についてもこの授業の履修者で ID およびパスワードを付与された者しか閲覧できないようにしてあるので、その点ご了解いただきたい。

<板井准教授 補足説明>

- 紙ベースではなく電子媒体とすることで差替えが可能。事前学修を目的として 1 回の講義につき 1 スライドとして学生が必ず事前に目を通せる形としている。Step を 3 つ設け、1) 事前学修の課題、2) 授業当日のトピックのうちの 2 つ程度、3) 講義に向けての要点をメッセージとして提示している。関係資料はできるだけ HP で公開されているものを参照できるよう URL を貼付。
- あくまでも H28 年度の内容を反映させたものなので、来年度テーマや担当者が変わるものについては、その都度新しいものに差替える形をとりたいと考えている。
- 毎年度 2 科目で計 30 スライドが蓄積されていくので、これらはポートフォリオとして残しながら、学生の学修に役立てていきたい。

（問）来年度の授業用に差替えを行う場合、更新のタイミングは？

（答）具体的な時期について詰め切れていないが、履修登録が確定するゴールデンウィーク直前以降、第 2 回目の授業までに各担当教員が、差替え作業を行う。

審議の結果、異議なく了承された。

2. 「伊勢志摩定住自立圏共生学」Ⅲ・Ⅳ補助教材について

齋藤教授より説明がなされた。

- ・今年度の授業で教材として配布されたパワーポイント資料を簡易製本し、学生の事前学修用資料として配布予定。来年度は科目Ⅳが春学期、科目Ⅲが秋学期に実施されることから、その時期に合わせて作成したい。

(問) 紙媒体で配布されるということだが、どのような形で提供されるのか？

(答) 授業の中で配布されるものであり、閉じられた使い方を前提としているが、肖像権の問題など、資料集への掲載に不適切なスライドがないかご確認をお願いしたい。

審議の結果、異議なく了承された。

3. 平成 28 年度 CLL 活動年度末報告会について

齋藤教授より説明がなされた。

- ・開催日時、プログラム等については、配布資料参照
- ・21 活動のうち、10 活動が代表して活動報告。
(皇學館みらい対話団、伊勢河崎商家リノベーションPJ、南伊勢ドローン防災PJ、あばばい、伊勢おもてなしヘルパーPJ、TeamS3、玉城産豚ブランド化PJ、「ごみ分別ガイドブック」作成事業、度会カフェリョクPJ、大紀町漁業活性化PJ)
- ・昨年度と同様、科目ⅠⅡレポート表彰での市町賞選考も併せてお願いしたい。

審議の結果、異議なく了承された。

4. 平成 28 年度自己点検・評価委員会および外部評価委員会(3 月)開催について

齋藤教授より説明がなされた。

- ・H29 年3月27日(月) 9:30~ @皇學館大学9号館911
- ・欠席の場合、委任状をご提出いただくようお願いしたい。

審議の結果、異議なく了解された。

5. 平成 29 年度 COC 教育プログラムについて

齋藤教授より配布資料をもとに説明がなされた。

- ・今年度から予定されたすべてのCOC関連科目(伊勢志摩共生学、伊勢志摩定住自立圏共生学科目Ⅰ~Ⅳ、伊勢志摩共生学実習A~D)が開講。→別紙資料にそれぞれの担当者、担当セメスターを提示。
- ・専門演習Ⅱ(卒業研究)が来年度開講され、COC関連科目のカリキュラム完成年度を迎えることとなる。卒業論で地域課題に取り組む学生はまだ多くはないが、全学で10名ほどの見込みとなっている。

(1) 伊勢志摩共生学

※H28 年度からの変更点

第3回: テーマ「言語の資源性」齋藤教授へ変更

第 5 回：玉城町長

第 13 回：テーマ「自治体ガバナンス」→「自治体と地域活性化」へ変更

(2) 伊勢志摩定住自立圏共生学 I～IV

I：春学期、II：秋学期 開講

III：秋学期（金曜日IV講時 15：10～）、IV：春学期（金曜日IV講時 15：10～） 開講

(3) 伊勢志摩共生学実習 A～D

D【a】：来年度も鳥羽市での実習を予定。今年度は答志島「島の旅社」での実習だったが、来年度は1次産業従事者の方に4日間、学生が密着させていただき、その方々のライフヒストリーをまとめることを考えている。

C【a】：昨年度に引き続き、玉城町で実施

D【d】【e】：三重大学COC+、高等教育機関コンソーシアムみえとの連携で実施

(4) 社会人履修生募集

- ・出願期間：3月24日（金）まで。（←柔軟に対応は可能）

審議の結果、異議なく了解された。

6. 平成 29 年度事業計画及び補助金調書について

齋藤教授より配布資料をもとに説明がなされた。

- ・今年度中間評価を受け、「A」評価をいただいたが、来年度についても着実に事業を展開していく予定。最終30年度のまとめに向けて、授業科目がすべて完成し、さらにCLL活動等、社会貢献の部分を広げながら進めていくことを大きな目標としたい。受講人数や各活動への参加人数がこの事業が成功したかの大きなKPIになるのでその点を認識しながら進めたいと考えている。
- ・事業経費等は資料参照。

<木村部長補足>

- ・H29年度事業計画主な点

（→配布資料「平成29年度大学改革推進等補助金調書」p.4「10補助事業の内容」参照。）

①科目Ⅲ、Ⅳ補助教材作成

③CLL活動を25活動へ拡大・拡充（H28年度実績：21活動）

⑥伊勢志摩共生学実習（地域インターンシップ）履修学生数目標4地域40名程度（H28年度実績：4地域30名）

⑦『伊勢志摩定住自立圏共生学』の副専攻化

⑩圏域自治体の行政チャンネルを利用した圏域住民向け講座配信をH30年度から実現させる為に予算や番組製作体制について連携自治体の皆様と調整し、調整のついた自治体様から試験的に配信できるところまで進めたい。

（問）社会人募集要項の完成時期は？

(答) 3月3日頃を予定している

審議の結果、異議なく了解された。

7. その他

特になし。

【報告】

1. 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)平成28年度評価結果について

齋藤教授より報告がなされた。

- ・ A評価、「計画通りの取組が進められている」との評価を受けた。

<木村企画部長補足>

- ・ H25、26年度に採択大学すべてが今年度中間評価を受け、評価はS、A、B、C、D。
- ・ 本学は教育プログラムが優れている、連携自治体と非常に密接して事業が進められているとの評価をいただき、特に科目Ⅲ、Ⅳに興味・関心を示していただいた。

異議なく了解された。

2. 平成28年度COC教育プログラム学修成果評価アンケート

齋藤教授より配布資料に基づき、説明および報告がなされた。

(科目Ⅱ)

- ・ 現況や課題について「十分理解できた、よく理解できた」とする者の割合が昨年度に比べ大きく上昇。
また、「他者への説明について」も説明できるまでに理解できたとする者の割合も大きく上昇している。
- ・ 地域経済、産業等に関する現況・課題について情報収集するなど能動的な学修態度を示す回答が得られている。
- ・ 卒業研究テーマとして取り上げたいとする回答も増加傾向にあり、概ね肯定的な回答が増加していると言える。

(科目Ⅲ、Ⅳ)

- ・ Ⅲ、Ⅳ共に理解できたとする学生は70%以上であった
- ・ 社会人履修生についても、理解度に対する肯定的な回答は100%で、「具体的な事例が出てきて参考になった」「最新の事例が出てきて参考になった」などのお声をいただいた。

異議なく了解された。

3. 三重創生ファンタジスタ(ベーシック)科目について

齋藤教授より説明および報告がなされた。

- ・ COC+で県内の高等教育機関が連携して三重の地域課題について積極的に関与していける人材としての認定を行うもので、各高等教育機関の代表者による協議の中で地域志向科目6単位を取得した場合、「ファンタジスタ(ベーシック)」として授与しようと取り決めたもの(現在三重大学では、12単位取得で「ファンタジスタ」を授与)。本学としてはCOC科目(「伊勢志摩共生学」、「伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ～Ⅳ」、COC+からの提

供科目である「三重学」)をこの科目におき、この中から3科目6単位以上を得た者が「ファンタジスタ(ベーシック)」という資格を授与される形とする。他大学でも同様にそれぞれ地域志向科目を持ち寄り、この会議体でその科目がふさわしいかを審査・認定する作業を進めている。

この件に関して連携市町の方に直接関わりのあることはないが、このような取組が行われ、これに皇學館も参画していることをご承知おきいただきたい。

異議なく了解された。

4. みえぎんビジネスプランコンテスト 2016

齋藤教授より報告がなされた。(配布資料参照)

- ・本学学生のプランが優秀プランに選出された。学生が選出されたのは初で、当該学生は「伊勢志摩定住自立圏共生学」科目ⅠⅡ優秀レポート候補にも選出されている。

異議なく了解された。

5. その他

伊勢志摩みらいづくり調査

筒井教授より配布資料をもとに速報として説明、報告がなされた。

- ・昨年度のパイロット調査に引き続き、本調査として昨年10、11月に実施。
- ・回収数約3600件(中学生:1800、高校生:1400、大学生400 前回回収数 800件)

異議なく了解された。

* 次回日程

次回(H29年度 第1回)運営会議は、

平成29年4月20日(木)18時～ 皇學館大学 9号館1F(911)にて開催されることが確認された。

以上